

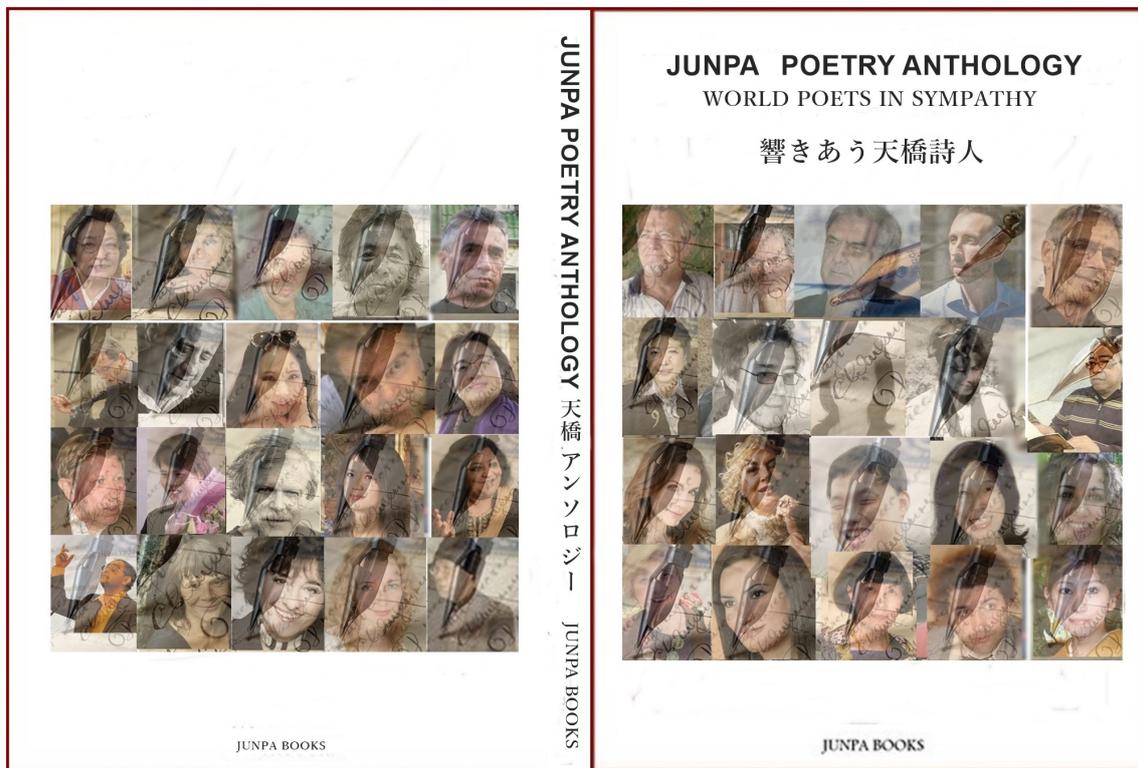
# 天橋だより 2026/春号

(報告)

◎「多くより少なく一言葉の精練者たち！」は昨年1月に発行されましたが、それを記念して全作品を著者により朗読、日本語訳はスタッフにより朗読し、四回に分けて実施しました。最終回「短詩の春」オンライン朗読会は2月23日に実施しました。じっくり味わえる良い機会となりました。参加者・スタッフの皆様、お疲れ様でした。

(予告)

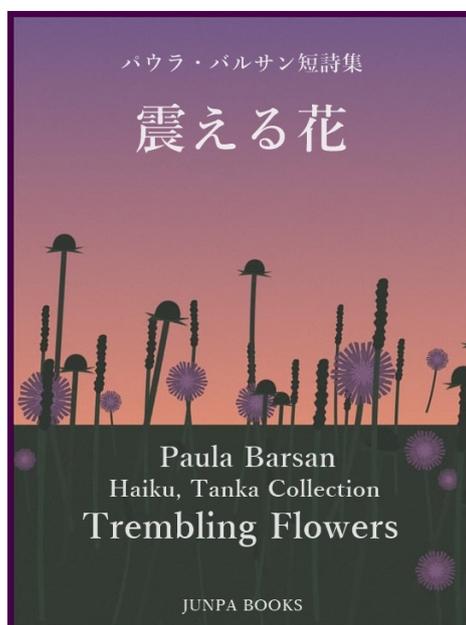
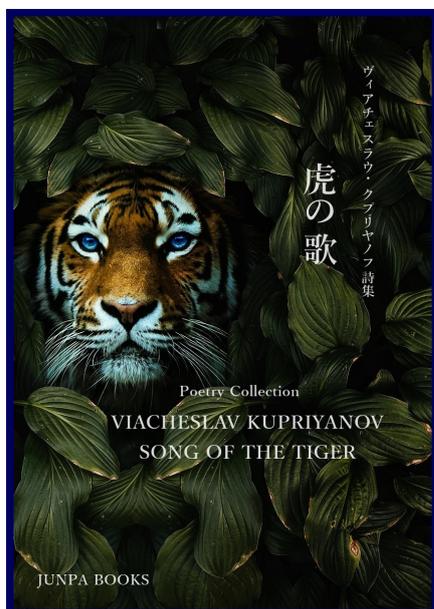
◎天橋アンソロジー『響き合う世界詩人』は3月1日に出版します。アマゾンkindleで世界のどこからでも購入できます。日英併記。二重奏を集めたものです。冊子は三月末になります。ご希望あればお知らせください。一冊1500円

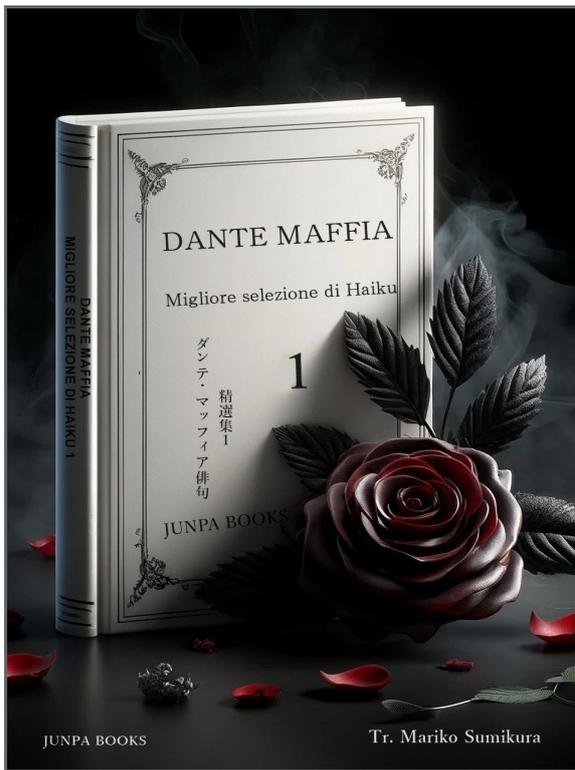
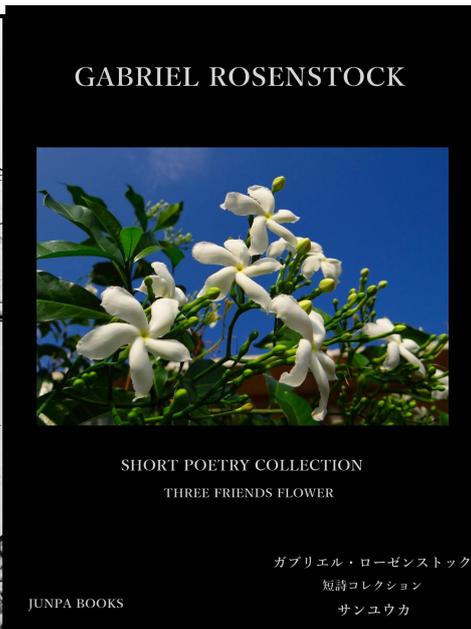
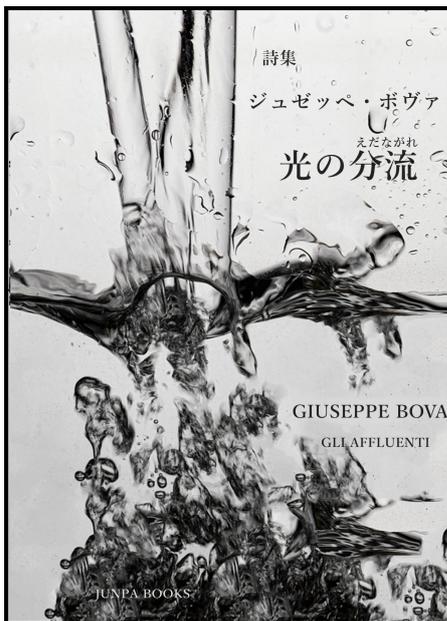


- 1 風の二重奏 Duet of Wind  
Taeko Uemura (Japan)  
Marius Cheralu (Romania)
- 2 星の二重奏 Duet of Stars  
Laura Garavaglia (Italy)  
Kikumi Shimoda (Japan)
- 3 花の二重奏 Duet of Flowers  
Hanane Aad (Lebanon)  
Mariko Sumikura (Japan)
- 4 命の二重奏 Duet of Life  
Donatella Bisutti (Italy)  
Taeko Uemura (Japan)
- 5 道の二重奏 Duet of Roads  
Shaip Emërllahu (Albania)  
Taro Aizu (Japan)
- 6 時の二重奏 Duet of Time  
Germain Droogenbroodt (Belugium/Spain)  
Takashi Arima (Japan)
- 7 青の二重奏 Duet of Azure  
Yui Tsukasa (Japan)  
Bujar Plloshtani (Albania)
- 8 滝の二重奏 Duet of Waterfalls  
Gabriel Rosenstock (Ireland)  
Tatsuo Murata (Japan)
- 9 夢の二重奏 Duet of Dreams  
Clelia Ifrim (Romania)  
Yoshimasa Kanou (Japan)
- 10 炎の二重奏 Duet of Flames  
Muesser Yeniay (Turkey)  
Chiaki Hamada (Japan)
- 11 存の二重奏 Duet of Existence  
Dante Maffia (Italy)  
Takashi Arima (Japan)
- 12 鍵の二重奏 Duet of Keys  
Helene Cardona (USA)  
Taeko Uemura (Japan)

- 13 鉄の二重奏 Duet of Iron  
Vyacheslav Kupriyanov (Russia)  
Yoshikazu Takenishi (Japan)
- 14 水の二重奏 Duet of Water  
Donatella Bisutti (Italy)  
Chiyo Kitahara (Japan)
- 15 暁の二重奏 Duet of Dawn  
Amir Or (Israel)  
Maki Starfield (Japan)
- 16 黒の二重奏 Duet of Black  
Simone Pansolin (Italy)  
Hitoshi Namino (Japan)
- 17 映の二重奏 Duet of Reflection  
Ikuyo Yoshimura (Japan)  
Antonio Garcia Velasco (Spain)

◎近刊 冊子希望の方は連絡ください。





☆ヴェチェスラウ・クプリヤノフ詩集『虎の歌』最近の作品も収められています。ファンの多い詩人です。

☆パウラ・バルサン短詩集『震える花』近日発売。日英バイリンガル短詩集クレリア・イフリム女史の後書きつき。

☆ジュゼッペ・ボヴァ詩集『光の分流』本邦初訳。イタリアの労働党事務局長を退任後、詩作に勤まられています。

☆ダンテ・マッフィア電子全集 全15巻、ただいま準備中

☆ガブリエル・ローゼンストック俳句集  
ただいま準備中

(朗報)

吉村侑久代さんの本が新聞に掲載されました。

2026年(令和8年)2月5日(木)

# 文化や暮らし「響き」二重奏

元大学教員で詩人、翻訳家の吉村侑久代さん(82)＝岐阜市大縄場＝が、ブルガリアの映画監督で内科医でもある詩人デミタール・アナキエフ氏(65)との共著「DUET OF RESONANCE 響の二重奏」(JUNPA BOOKS)を上梓した。

(浅野宮宏)

岐阜の吉村さん  
ブルガリアの詩人と連作集

短歌風 邦訳添え英語の55首



アナキエフ氏の詩に着想を得て、吉村さんが対の創作をする連詩形式の連作集。2人による短歌風の英語の五行詩が、55首ずつ見開きで掲載され、吉村さんによる邦訳も添えた。2024年8月に出版した俳句

風の三行詩集「Duet of Knots 結の二重奏」(同)に続く連作集の第2弾。アナキエフ氏から昨夏、新作の英語の詩が吉村さんにメールで届いた。「彼女の夫は、鉾山に足を踏み入れ、両足を失くした」

梅の木と彼女の乳首 芽吹く春(原文は英語、吉村さん訳)が届き、感想を求められた。「とっても面白い詩」と返すと、残りの54首が一気に送られてきた。アナキエフ氏の最初の詩に対して、吉村さんは「乳癌で 乳房失う 未婚の娘 見舞いの友は 両手にミモザ」この連詩を創作した。アナキエフ氏の詩は歴史や日々の暮らし、友情、家族、さらに戦争を題材にした作品など多岐にわたった。「着想を得るまでが大変だったが、あふれんばかりの響きに呼応せざるを得なかった」と話す。連作集は2カ月ほどで仕上げ、昨年未、発刊した。

アナキエフ氏から送られた仮題は「蛇行する河」だったが「文化、暮らし、心の『響き』があっこそ。提案したら、それはものすごく良いとの返答」で、タイトル名に決まった。挿入写真には、アナキエフ氏が住むクロスナトフツイ村の家並みや自然、吉村さんの出身地・京都のスナップも載る。A5判、140ページ。2000円。希望者は吉村さんへ058(252)2768へ。

上梓した「DUET OF RESONANCE 響の二重奏」を手にする吉村さん＝岐阜市内で

(未納年会費の納入について)

2025年度会費 5000 円は3月25日までに納入ください。

前年度会費未納の方も合わせて納入してください。

振込みは下記のゆうちょ銀行へお願いします。

【店名】 四四八 (読み ヨンヨンハチ) 【記号】 14400

【種目】 普通 【口座番号】 4467123

【名義】 日本国際詩人協会

発行日 2026/3/1 事務局: 引越などで郵便物が届かない場合は新連絡先を事務局に  
お知らせください。 電話 (075) 468-1231

〒602-8148 京都市上京区西丸太町185-801

日本国際詩人協会事務局 E-mail [sumikura@grace.ocn.ne.jp](mailto:sumikura@grace.ocn.ne.jp) LINE に入りたい方は、  
お知らせください。日々たのしく交流しています。

●新会員募集中 会員の推薦を受けてください。